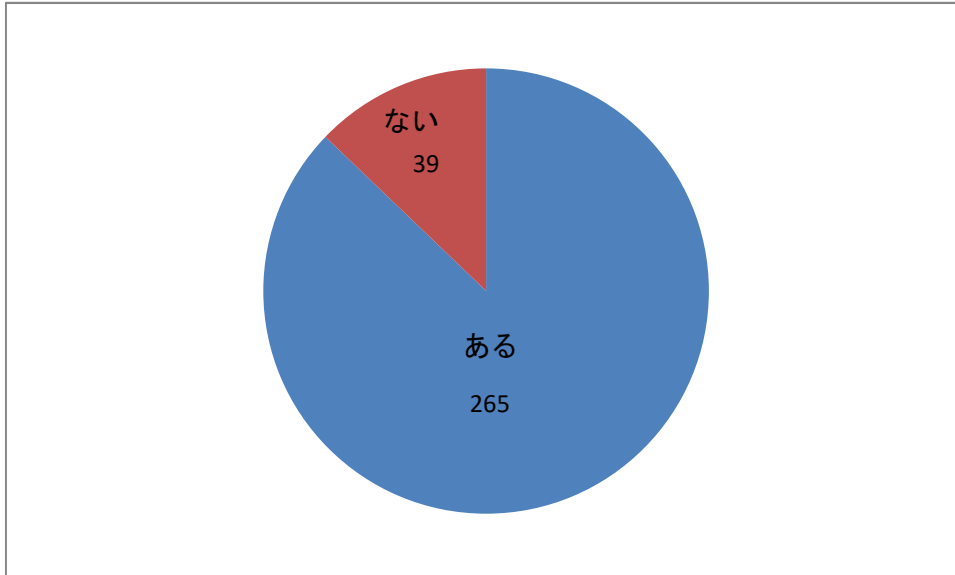


令和元年度 電子アンケート設問

セクシュアリティについて(回答数:306)

◆設問 1

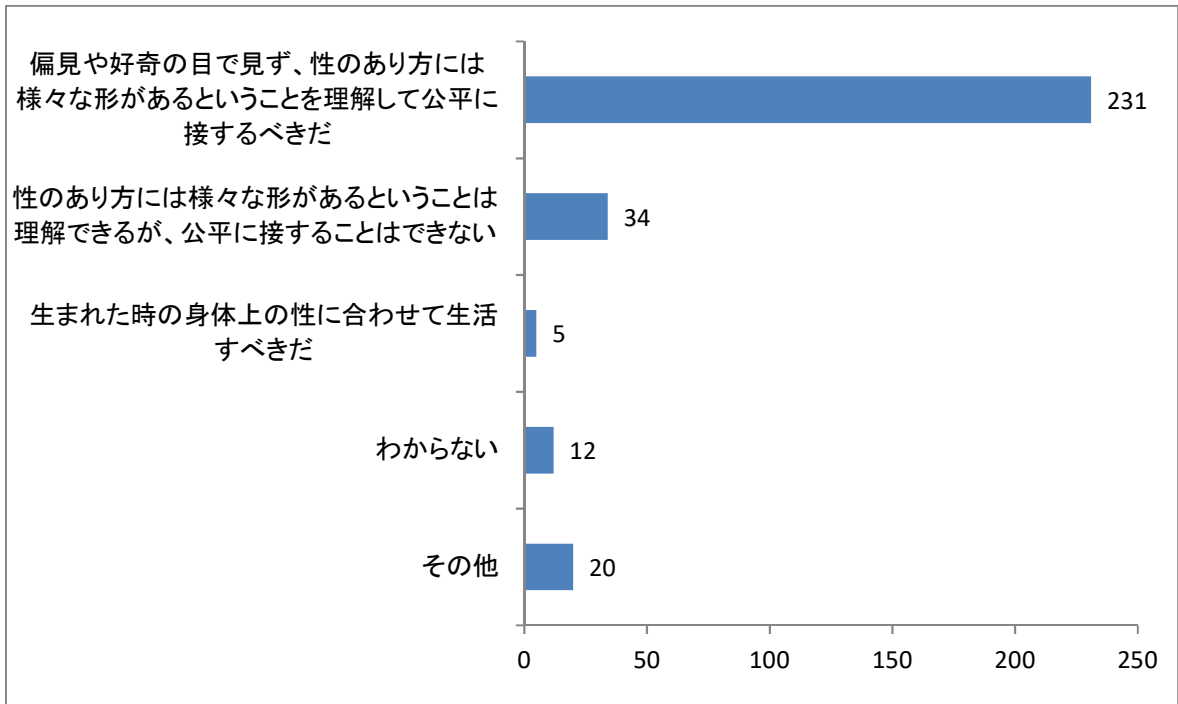
今まで自分の性別に悩んだことはありますか。



今まで自分の性別に悩んだことはあるか聞いたところ、「ある」265人、「ない」39人という結果になりました。

◆設問2

性的（セクシュアル）マイノリティの人をどう思いますか。



性的（セクシュアル）マイノリティの人をどう思うか聞いたところ、「偏見や好奇の目で見ず、性のあり方には様々な形があるということを理解して公平に接すべきだ」231人、「性のあり方には様々な形があるということは理解できるが、公平に接することはできない」34人、「生まれた時の身体上の性に合わせて生活すべきだ」5人、「わからない」12人、「その他」20人という結果になりました。

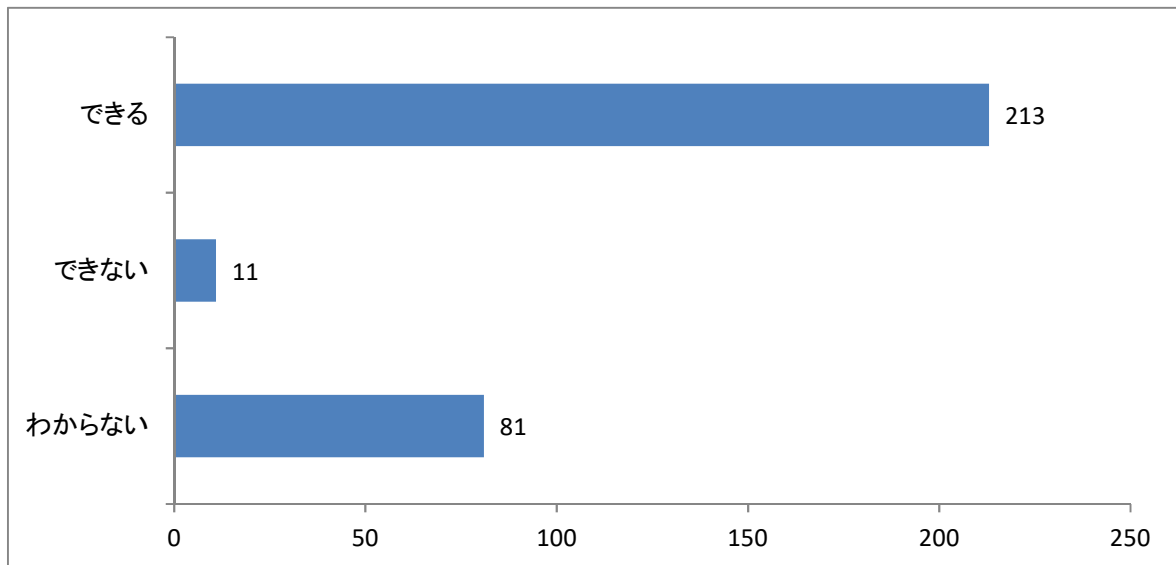
「その他」意見（抜粋）

- ・偏見や好奇の目で見ず、性のあり方には様々な形があるということを理解して公平に接すべきだと思う。あわせて、周囲に対する配慮も必要である。
- ・公共で学び始める頃や育児学級、予防接種などで早い段階から周知できるよう、理解し合い、いじめに繋がらないよう、また本人が悩まなくても済むよう誰にでも相談やカミングアウトできる開けた世の中にすべき
- ・色んな人が居るのだから、色んな人が居て当たり前、だというのが理想
- ・好きなようにしたらいい、外野がとやかく言うことではない

◆設問3

身近な方（家族、友人など）や学校や職場内の人に、性的（セクシュアル）マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができますか（1つのみ）

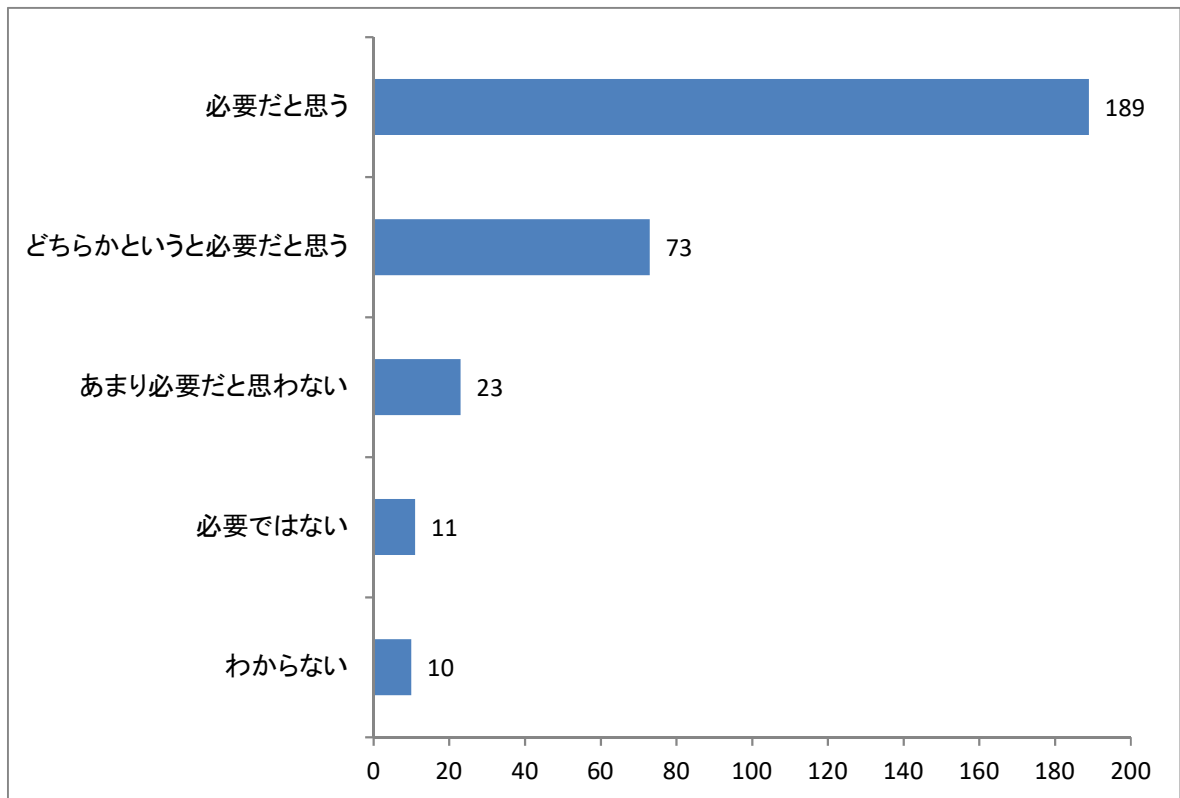
※カミングアウトとは、性的（セクシュアル）マイノリティであることを自分以外の人に打ち明けることを指します



身近な方（家族、友人など）や学校や職場内の人に、性的（セクシュアル）マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができるか聞いたところ、「できる」213人、「できない」11人、「わからない」81人という結果になりました。

◆設問 4

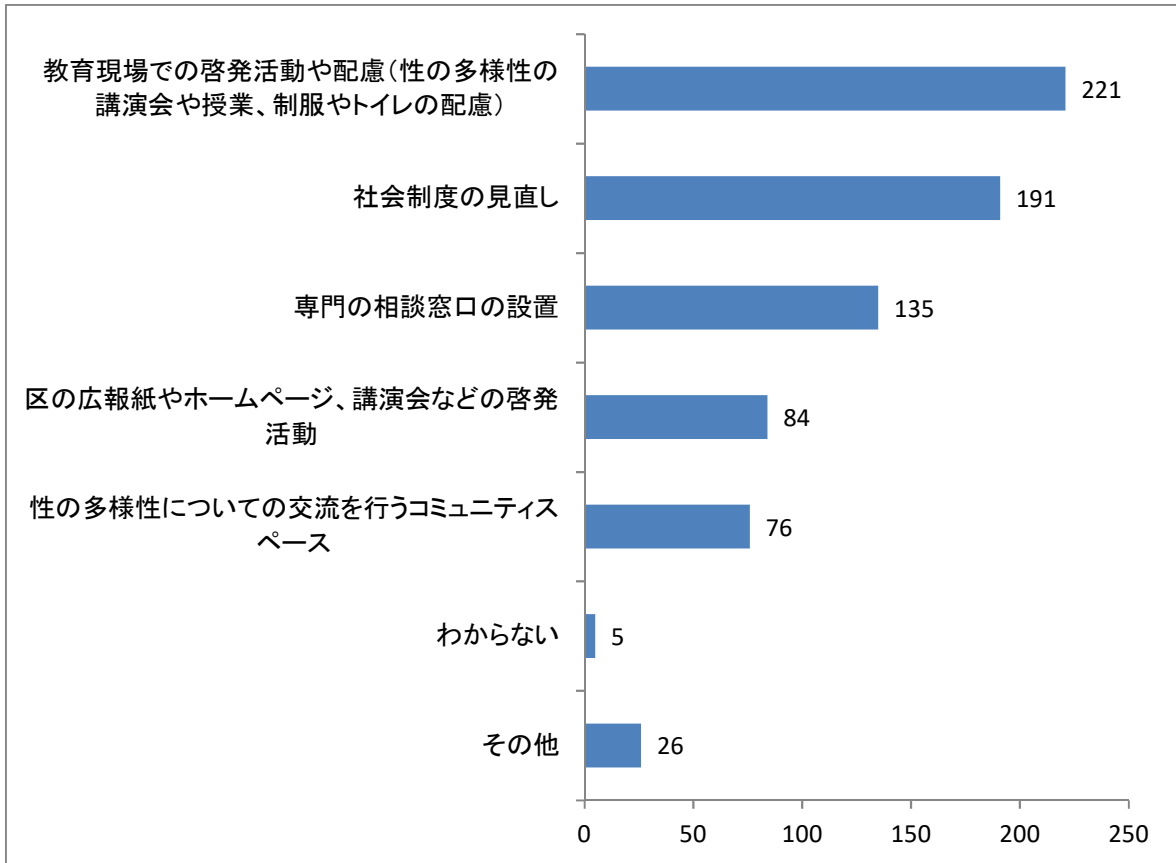
性の多様性を認め合う社会をつくるための取り組みが必要だと思いますか



性の多様性を認め合う社会をつくるための取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「必要だと思う」189人、「どちらかという必要だと思う」73人、「あまり必要だと思わない」23人、「必要ではない」11人、「わからない」10人という結果になりました。

◆設問5

問4で、「必要だと思う」、「どちらかというとな必要だと思う」とお答えの方におたずねします。どのような取り組みが必要だと思いますか

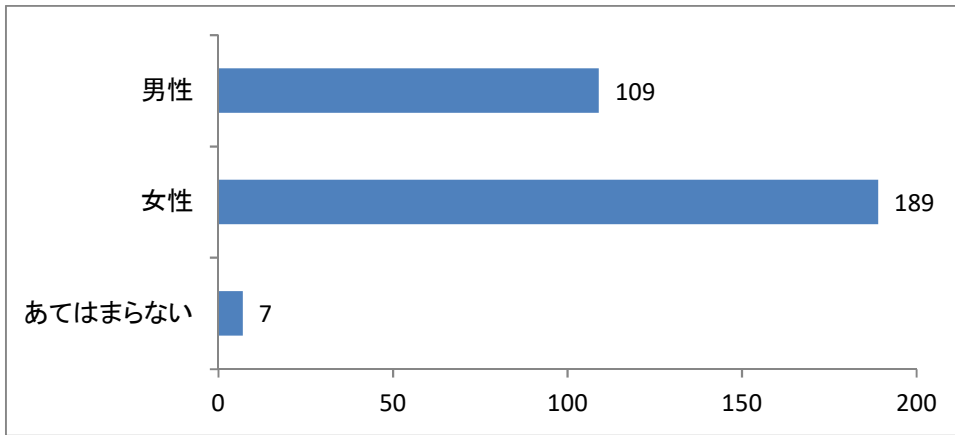


問4で、「必要だと思う」、「どちらかというとな必要だと思う」とお答えの方に、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「教育現場での啓発活動や配慮(性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮)」221人、「社会制度の見直し」191人、「専門の相談窓口の設置」135人、「区の広報誌やホームページ、講演会などの啓発活動」84人、「性の多様性についての交流を行うコミュニティスペース」76人、「わからない」5人、「その他」26人という結果になりました。

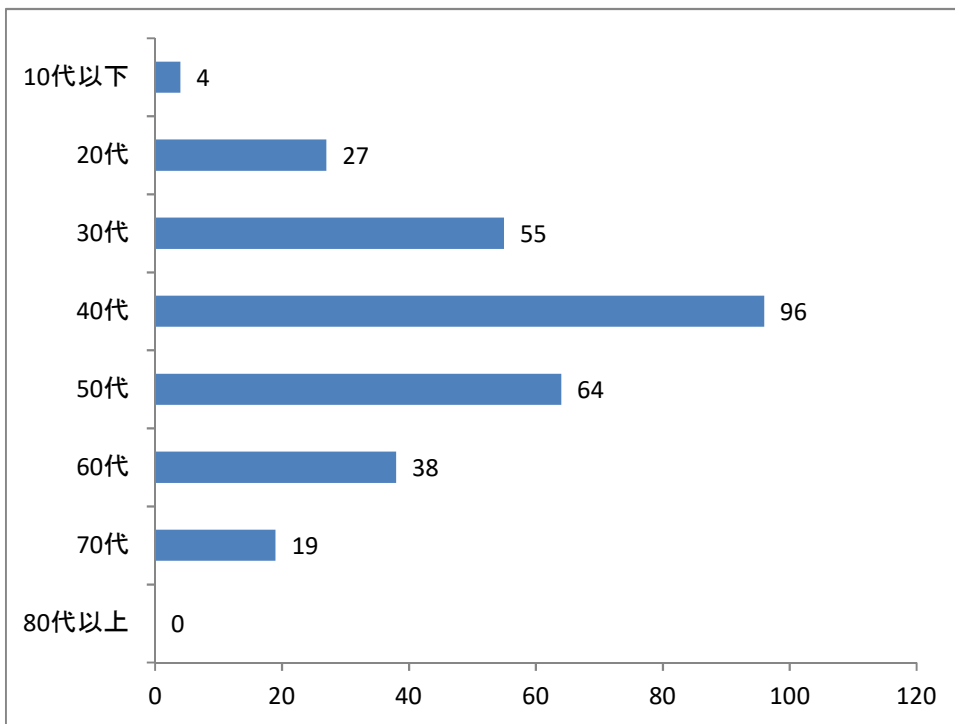
「その他」意見(抜粋)

- ・保育士、教師等、早くから子供に接する職業の人たちのリテラシーの向上
- ・子供の頃からの性教育の徹底(性病や避妊などの知識も含め)の中での啓蒙
- ・性別マイノリティの方だけでなく、全ての人が性別に縛られない様な教育が必要だと感じる
- ・性の問題に限らず、互いを理解する努力・尊重する姿勢を持てるよう教育環境が整っていくのがいいと思う
- ・中高年以上の方に向けた啓発

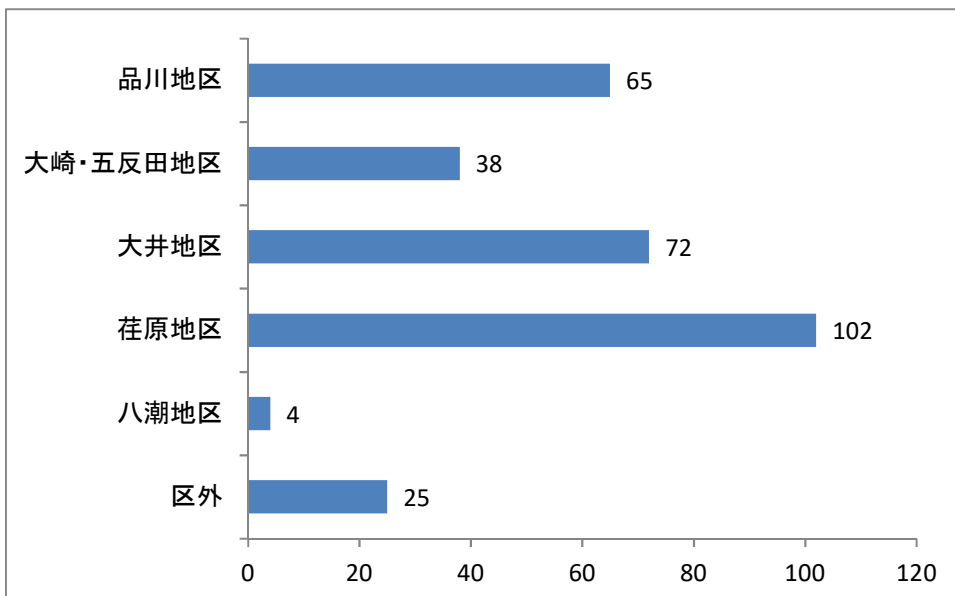
◆F1 回答者の性別



◆F2 回答者の年齢



◆F3 回答者の居住地



～ご協力ありがとうございました～